

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

李 永淑

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、ボランティア活動を通じた「無関係な他者」との関わりあいから、「自分事」と「他人事」をどのように社会化していくことができるのかを考え、受講生各自のボランティア論を構築することを目指していきます。具体的には、受講生自身の「想い」を社会的な問いとしてとらえなおし、調査や先行研究をもとに論理的な主張を展開し、それを卒業研究・卒業論文という形にすることを目標とします。

そのためにまず、教科書「最強の社会調査入門」を用いて、様々な論文を輪読し、社会的な問いの立て方(研究テーマの設定)、先行研究の探し方、論文の構成、書き方を学び、研究テーマや研究計画に活かすヒントを模索します。そのうえで、教科書「小児がん病棟と学生ボランティア」を用いて、フォーラムシアター(演劇討論)を行い、自覚的・無自覚的な社会への違和感を、自身の身体で感じ、表現し、他の価値観と突き合わせていきます。

2. 授業の到達目標

- ・日常生活のなかで「問い」を立てることができる。
- ・自分の考えを口頭・及び文章で具体的かつ論理的に説明することができる。
- ・専門的な文献を読解する力を身につける。
- ・卒業研究・卒業論文執筆のための基礎的な能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業の参加状況、貢献度、発表(50%)、提出物(50%)から、総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

前田拓也・秋谷直矩他 最強の社会調査入門 ナカニシヤ出版

李永淑 小児がん病棟と学生ボランティア ー関わり合いの人間科学 晃洋書房

5. 準備学修の内容

- ・授業外において受講生各自がボランティア活動などのフィールドをもつことが望ましい。(フィールドの紹介や相談などにも応じます)
- ・活動フィールドや関心のある分野に関連する文献を探して読み、それらはリストとして整理しておくこと。
- ・「市民参加・ボランティア論Ⅰ、Ⅱ」「公共社会学Ⅰ、Ⅱ」を履修してください。

6. その他履修上の注意事項

- ・本演習では、事前課題を課したり、議論や発表、グループワークを多く行います。したがって、遅刻・欠席、課題の未提出、報告の欠席は、単位が認定できないだけでなく、授業の進行も妨げますので、やむを得ない事情(学生便覧参照)以外は原則として認めません。
- ・教科書・文献は精読し、発表準備・事前準備をしっかりと行うこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業ガイダンス
- 【第2回】 レジューメの書き方とプレゼンテーション方法
発表スケジュールと担当の決定
- 【第3回】 文献の検討と発表、議論
- 【第4回】 文献の検討と発表、議論
- 【第5回】 文献の検討と発表、議論
- 【第6回】 文献の検討と発表、議論
- 【第7回】 文献の検討と発表、議論
- 【第8回】 社会の成員としての自己を理解し、他者に対して寛容な態度をとることの検討ーフォーラムシアターを手掛かりに
グループ分けと事前準備について
- 【第9回】 文献の検討と発表、フォーラムシアターの準備
- 【第10回】 文献の検討と発表、議論:フォーラムシアター②
- 【第11回】 文献の検討と発表、議論:フォーラムシアター③
- 【第12回】 文献の検討と発表、議論:フォーラムシアター④
- 【第13回】 グループワーク(ワールドカフェ):「社会の問題を発見し社会を構想すること」への検討
- 【第14回】 グループワーク(ワールドカフェ):個人研究テーマの検討
- 【第15回】 まとめ
夏期休暇中の課題について(研究報告書の執筆、フォーラムシアターの事前準備について)